

〔記入注意〕 この実務経歴書は勤務先（自営業を含む）毎に作成し、今までの建築に関する実務の経歴について登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。なお、記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求めることになり、登録が遅れる場合があります。また、虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置や登録が認められない場合もあります。

私は、一級建築士の免許を受けたいので、建築実務の経歴を下記の通り記載し、併せて第三者が当該書類の内容が事実と相違ないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。  
私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

国土交通大臣 殿 氏名 建築 士郎

中央指定登録機関  
公益社団法人日本建築士会連合会

勤務先等			
勤務先(部課名まで)	所在地(番地まで)	在職期間の合計	
		年月～年月	年月数
株式会社〇〇建築設計事務所 〇〇部 〇〇課	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	H23年 4月～ R4年 12月	11年9月
在職期間(新しい順に記入)		地位職名	建築実務の内容(建築士法施行規則第一条の二)
年月～年月	年月数		
R2年4年～R4年12月	2年 9月	主任	建築士事務所の業務として行う建築物に関する調査又は評価に関する実務
年 月～ 年 月	年 月		

(1)と(2)の「年月数」の合計は28.2カ月。小数点第一位以下は切り捨て。

建築実務の詳細(申請する実務を新しい順に記入)	建築実務経験期間の合計		
	年月～年月	建築実務の割合	年月数
	2年	4月	

(1)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
	耐震診断及び構造計算書のチェック(〇〇ビル、他〇件)	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地 (〇〇ビルの所在地)	R3年 4月～R4年 12月	100 %	1年 9月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・階数・延べ面積・担当業務 等)					
〔 4C-02 〕 〇〇ビル(築40年の鉄筋コンクリート造4階建て、延べ面積1,500㎡)における建築物の耐震診断に関する業務において、耐震診断及び構造計算書のチェックの補助を担当した(1件当たりの平均的な実施期間約〇日、計〇件実施)。					

建築士登録の対象実務に従事した時間が、毎月の法定労働時間未満の場合、その割合により「年月数」を調整してください。

(2)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
	定期報告調査(〇〇レジデンス、他〇件)	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地 (〇〇レジデンスの所在地)	R2年 4年～R2年 12月	80 %	0年 7.2月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・階数・延べ面積・担当業務 等)					
〔 4C-01 〕 〇〇レジデンス(共同住宅、鉄筋コンクリート造8階建て、延べ面積3,000㎡)における定期報告調査業務において、敷地地盤、建物外及び内部、屋上屋根、避難施設等の調査補助を担当した(1件当たりの平均的な実施期間約〇日、計〇件実施)。					

記入のポイント	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
	業務名と代表的な物件名等を併記	守秘義務があっても代表的な物件の都道府県・市区町村名までは記載	R〇年〇月～R〇年〇月	〇〇%	〇年〇月

建築実務を並行して行った場合、各実務の期間が重複しない様に、業務始期が新しい実務を優先して記載してください。

毎月の法定労働時間以上に対象実務に従事した場合、割合の上限は「100%」となります。

実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・階数・延べ面積・担当業務 等)

〔 〕

- 建築物の調査・評価に関する業務は、平成20年11月28日から令和2年2月29日は建築士登録対象実務の対象外であるので注意する事。
- 実務の対象が具体の建築物の場合、用途・構造・階数・延べ面積を記載し、また、従事した業務について、どのような実務を行ったのか、可能な限り詳細に記載するとともに、期間内に担当した物件数と1件当たりの平均的な実施期間を記載する事。

## 【×認められない記入の例】

耐震診断業務の代表的な物件の名称等、所在地を記入してください。

■一つの欄に同様の業務を複数件記載する場合、代表物件の詳細の記入がない。類似実務の件数がない。

	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
( 1 )	× 建築物の耐震診断	× -	R4年 7月～R4年10月	100 %	0年 4月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・階数・延べ面積・担当業務 等) [ 4C-02 ] 建築物の耐震診断に関する業務において、耐震診断及び構造計算書のチェックの補助を担当した。				

代表的な建築物の詳細を記入してください。

複数の件数の実施により申請する場合は、実務経験期間内に行った類似実務の物件数と平均的な実施期間を記入してください(計〇件実施)。

■対象実務ではない期間に行った実務を記載している。

建築物に関する調査又は評価業務は、平成20年11月28日から令和2年2月29日までの期間(Bコードの期間)は対象外です。

	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
( 1 )	定期報告調査 (〇〇レジデンス、他〇件)	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地 (〇〇レジデンスの所在地)	H30年7月～R1年10月	100 %	1年 4月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・階数・延べ面積・担当業務 等) [ 4C-01 ] 〇〇レジデンス(共同住宅、鉄筋コンクリート造8階建て、延べ面積3,000㎡)における定期報告調査業務において、敷地地盤、建物外及び内部、屋上屋根、避難施設等の調査補助を担当した(1件当たりの平均的な実施期間〇日、計〇件実施)。				